

KH NeoChem

第9期 中間 株主通信

2018年1月1日～2018年6月30日

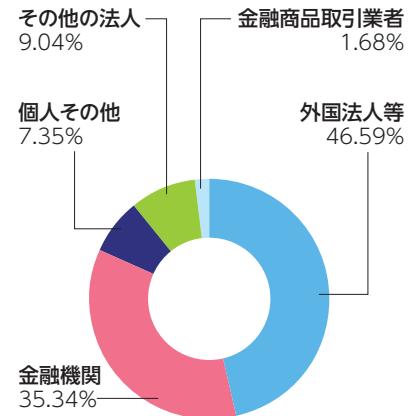
株式の状況 (2018年6月30日現在)

発行可能株式総数	136,200,000株
発行済株式総数	36,859,400株
株主数	5,492名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,951	16.15
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036	1,921	5.21
SHEPHERDS HILL CAPITAL PARTNERS UNLIMITED COMPANY	1,670	4.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,572	4.26
株式会社みずほ銀行	1,466	3.98
JP MORGAN CHASE BANK 380634	1,405	3.81
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,132	3.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	615	1.67
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	563	1.53
THE BANK OF NEW YORK 133522	547	1.49

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
配当基準日	期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行います。(http://www.khneochem.co.jp/)ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上場取引所	東京証券取引所(市場第一部)
株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

株式事務に関するご案内

お取扱窓口	お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。
特別口座管理機関お取扱店	みずほ証券及びみずほ信託銀行 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行(みずほ証券では取次のみとなります)

KH NeoChem

KHネオケム株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-6-5
TEL 03-3510-3550 FAX 03-3510-3571UD
FONT

KHネオケム株式会社

中期経営計画 最終年度 計画を大幅に上回り、さらなる飛躍へ！



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2018年12月期第2四半期累計(2018年1月1日から6月30日まで)の連結業績につきましては、売上高は前年同期比で2.5%減の443億57百万円、営業利益は29.2%減の40億15百万円と減収減益となりました。各分野での需要は引き続き旺盛ではありましたが、隔年で実施する大規模な定期修繕に伴う販売数量の減少や修繕費等の設備費用増加の影響を受けました。

一方で、各事業分野における旺盛な需要や良好な市況が今後も継続すると予想され、機能性材料や基礎化学品の販売が好調に推移することが見込まれることから、通期連結業績予想数値を上方修正いたしました。

なお、当社では投資活動の原資である内部留保に配慮しつつ、継続的かつ安定的な配当を維持することを基本方針としております。この方針に基づき、当中間期の配当金は、1株につき27円とさせていただきます。

1株当たりの中間配当金 **27円**

当社グループは、2016年度から2018年度までの3カ年を対象とする中期経営計画「変革への挑戦」における目標を達成し、企業価値を向上することが当社グループの最重要課題であると考えております。

当社は、売上高、営業利益ともに中期経営計画を確実に達成するため、コアビジネスの強化を実施するなど将来に向けた地固めを行ってまいりました。中期経営計画の最終年度である本年度は、定期修繕の影響により前年度比では減益の予想であります。下期計画を達成し、より一層の成長へとつなげてまいります。

現在、さらなる飛躍に向けて新たな「ビジョン2030」と2019年度から始まる「新中期経営計画」の策定を進めており、改めて公表を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2018年9月

代表取締役社長

浅井 惠一

中期経営計画の実績見通し

注:2015年は株式を譲渡した子会社を除く数値

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



← 中期経営計画 →

← 中期経営計画 →

連結財務ハイライト

当第2四半期累計の連結業績のポイント

- 工場の定期修繕に伴う販売数量の減少により営業利益は前年同期比29.2%の減少
- 定期修繕において将来に向けた生産基盤を強化

当社グループの2018年12月期第2四半期累計の連結売上高は、前年同期比2.5%減の443億57百万円、営業利益は、前年同期比29.2%減の40億15百万円、経常利益は、前年同期比27.3%減の42億43百万円となりました。

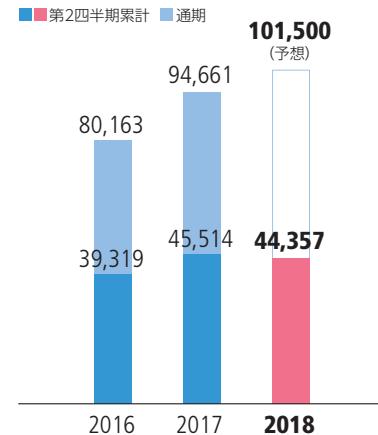
当第2四半期において、隔年で実施する大規模な定期修繕を行ったことにより販売数量の減少や設備費用が増加いたしました。

また、原油やナフサの価格が高騰したことによる原料価格の上昇に加え、円高が進行したことによる影響を受けました。

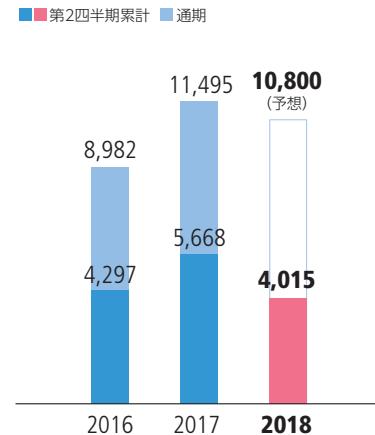
なお、各事業分野において旺盛な需要が続いているため、通期業績予想について本年2月に公表した内容から売上高は4.6%増の1,015億円、営業利益は2.9%増の108億円、経常利益は4.6%増の113億円に上方修正しております。

引き続き、中期経営計画最終年度の取組みを着実に実行し、締めくくることが、新中期経営計画へとつなげてまいります。

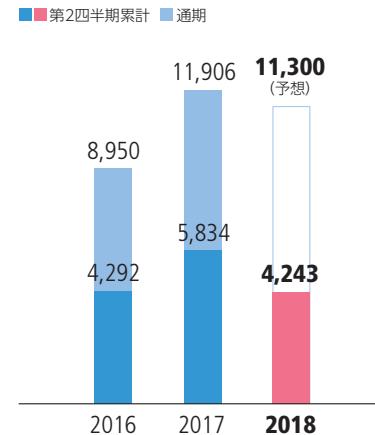
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



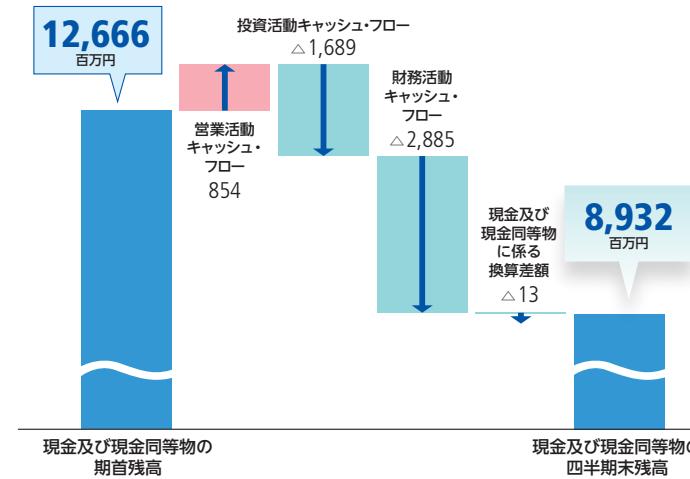
経常利益 (百万円)



連結財務諸表の概要

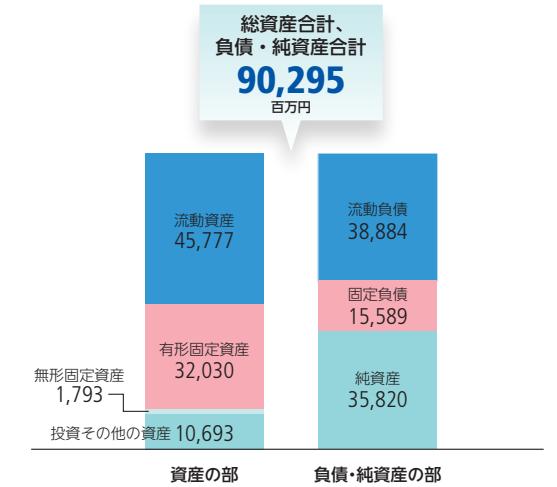
連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

当第2四半期累計 (2018年1月1日～2018年6月30日)



連結貸借対照表 (百万円)

当第2四半期末 (2018年6月30日)



ここがポイント！～定期修繕とは？～

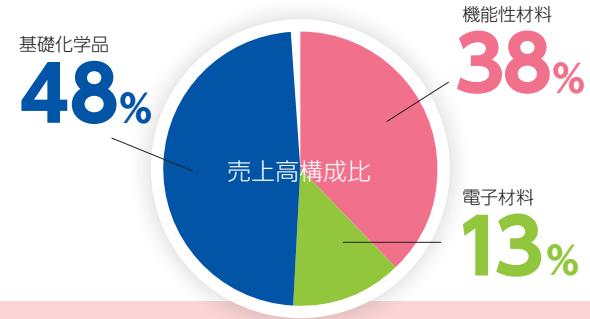
数多くの化学製品を取り扱う製造プラントでは定期的な法定点検が義務付けられています。当社におきましても、当第2四半期に大規模な定期修繕を実施いたしました。

四日市工場・千葉工場ともに、製造プラントを停止させて反応器やタンク、配管の細部に至るまで、設備に異常がないか、くまなく点検するとともに、この定期修繕において計画的に製造設備を更新することで、さらなる生産基盤の強化を進めております。



事業分野別情報

当社の化学品素材は、プラスチックをやわらかくして加工しやすくする可塑剤や、塗料や接着剤に使われる溶剤、化粧水の成分など、様々な製品の原料として使われています。皆様の身近なところにも当社の素材が使われている製品がたくさんあります。



機能性材料

売上高 **169億47百万円**
(前年同期比8.6%減)

売上総利益 **48億34百万円**
(前年同期比20.3%減)



ユニークな構造・物性を有する当社の機能性材料は、スキンケア製品や家庭用洗剤などの日用品、地球環境に配慮したエアコンの冷凍機油などに幅広く使用されています。

当第2四半期累計における業績は、売上高169億47百万円(8.6%減)、売上総利益48億34百万円(20.3%減)となりました。

電子材料

売上高 **57億85百万円**
(前年同期比10.2%増)

売上総利益 **15億5百万円**
(前年同期比3.1%増)



スマートフォンやパソコンなどの電子機器内にある半導体は、機器の小型化や高性能化の鍵を握ります。当社では、優れた半導体づくりに欠かせない素材をつくっています。

当第2四半期累計における業績は、売上高57億85百万円(10.2%増)、売上総利益15億5百万円(3.1%増)となりました。

基礎化学品

売上高 **212億97百万円**
(前年同期比0.4%減)

売上総利益 **28億98百万円**
(前年同期比12.9%減)



当社の基礎化学品事業では、豊富な製品ラインナップを取り揃えています。製品の種類が多く、用途分野は多岐にわたり、自動車産業をはじめとした国内外の様々な産業を支えています。

当第2四半期累計における業績は、売上高212億97百万円(0.4%減)、売上総利益28億98百万円(12.9%減)となりました。

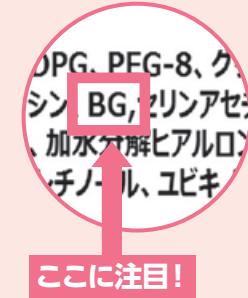
※当社グループでは、上記の3事業以外に「その他」がありますが、売上高構成比が1%とわずかであるため記載を省略しております。



身近な暮らしに貢献する当社製品 化粧品原料編

保湿性の高い「化粧品原料」

当社で製造している1,3-BG(1,3-ブチレングリコール)は、保湿性の高い化粧品原料です。抗菌性があり、肌にも優しく、世界中で多くの化粧品に使用されています。化粧品の原料欄に「BG」と記載があれば、1,3-BGが使われており、女性の化粧品のみならず男性の洗顔料やシャンプーなどにも幅広く使用されています。



「e-コマース」の発達により世界中で当社製品が使われています!

インターネットが普及した現代では、日本で製造された化粧品を世界中で購入することができ、高品質の性能が高く評価されている1,3-BGを使った化粧品がアジアを中心に世界中へ届けられています。

特に、温度や湿度の高い東南アジアでは近年、女性の社会進出が進み、空調が完備された乾燥しがちな環境で過ごす女性が増えています。そのため、温暖多湿な気候の国であっても、保湿性の高い化粧品が好まれています。

今後、新興国の生活環境が変化するにつれてますます保湿性の高い化粧品の消費量が増えていくと考えられます。



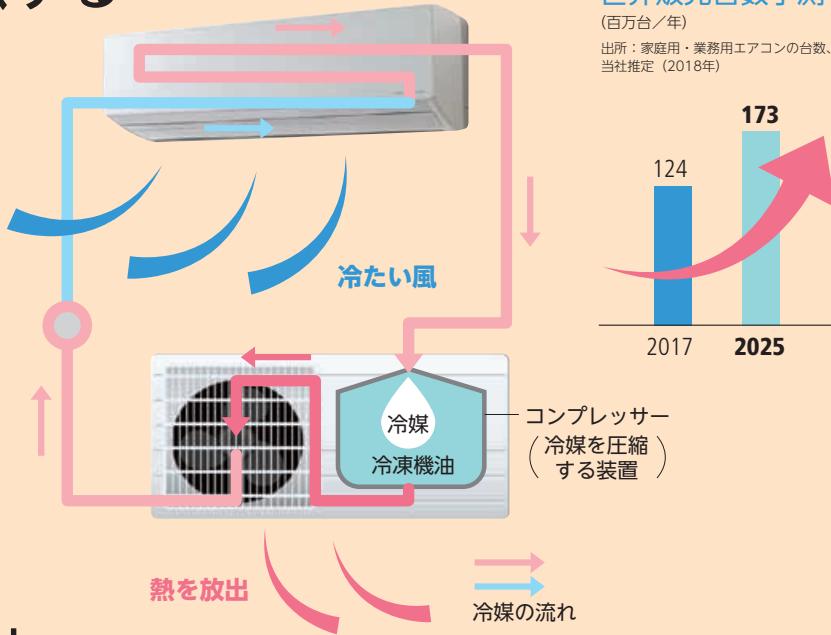


地球環境に貢献する当社製品 冷凍機油原料編

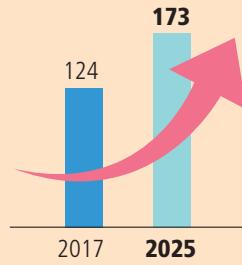
地球環境に貢献する「冷凍機油原料」

当社は、エアコンの室外機の中で使われる特殊な「潤滑油」(冷凍機油)の原料を製造しています。

当社の冷凍機油原料は、オゾン層を破壊せず地球温暖化にも配慮した冷媒を搭載したエアコンに使用されています。このような冷媒を使用した地球環境に優しいエアコンは、今後も需要の拡大が予想されています。



エアコンの世界販売台数予測
(百万台/年)
出所：家庭用・業務用エアコンの台数、当社推定 (2018年)



さらなる「生産能力強化!」

当社では、本年初旬から環境に配慮した冷凍機油原料の生産能力強化を進めています。千葉工場では、既存設備の能力を増強させることで、対象製品の生産能力を最大で約30%増加しました。さらに、四日市工場では、約75億円を投じて、プラントを新規建設し、2020年の稼働を目指しております。この新規建設により、四日市工場における対象製品の生産能力が50%増強します。



千葉工場

増強工事(2018年3月完了)
対象製品の生産能力 最大30%増



四日市工場

新規建設(投資額 約75億円)
対象製品の生産能力 50%増

社員紹介

「よりよい明日の実現」に向けて輝くKHネオケムの社員

KHネオケムでは、多くの若手社員が活躍しています。その輝く社員をご紹介します。

高品質な製品を世界中のお客様へ販売しています

主に東南アジアを中心としたお客様を担当しており、冷凍機油の原料等に使用される製品を販売しています。

製品の生産状況や品質レベル、物流体制など関係部門との調整に努め、お客様のニーズにお応えできるように日々取り組んでいます。

また、直接お客様の声を聞くために現地へ出張することも多く、時には、製品を紹介する大規模な展示会への出展を企画することもあります。

世界でも数少ない会社でしか製造できない当社の製品を販売し、様々な方にご利用いただいていることは、とてもやりがいのある仕事だと感じています。



KH NeoChem

化学品営業部
営業2グループ
須原 孝祐さん



KH NeoChem

四日市工場 品質管理課
小倉 優加さん

様々な工程で、徹底した品質管理を行っています

安定した品質の製品をお届けするために品質管理は非常に重要な工程であると考えています。

私は、電子材料に含まれる金属成分の分析を専門に担当しており、各工程で不純物が含まれていないか品質をチェックしています。分析するサンプルは、出荷時の製品だけでなく、購入した原料や製造途中、タンクでの保管中に至るまで様々な場面でを行います。さらに、分析する金属は30種類以上にもなり、徹底した品質管理を行っています。

原料から出荷に至るまでの品質管理を通じて世界の電子製品に貢献できるのは、この仕事の醍醐味だと思います。

地域とともに歩む KHネオケムのCSR

KHネオケムは地域の皆様から求められる企業であり続けるために地域に根差した社会貢献活動を重要な取組みの一つとして考えています。今回は四日市工場のCSR活動についてご紹介いたします。

四日市コンビナート見学会

四日市市と近隣3社による「四日市コンビナート見学会」を開催しました。地元大学の機械、電気・電子系を専攻している学生を招いて、将来の就職先としてコンビナートの企業に関心を抱いていただけるよう取り組んでいます。



四日市市消防出初式

市制120周年記念四日市市消防出初式に、四日市工場の消防車を派遣しました。これからも地域の皆様に安心して暮らしていただけるよう、防火・防災に取り組んでまいります。

カーブミラー清掃活動

四日市工場では、4月の入学式をひかえた3月31日に“安全にそして安心して登校できるように”四日市工場の有志が集まり、近隣51か所のカーブミラー清掃を実施しました。



会社概要 / 国内・海外拠点

会社概要 (2018年6月30日現在)

設立 2010年12月8日
(前身の協和油化(株)は1966年11月に設立)

資本金 8,775百万円

事業内容 各種石油化学製品の開発・製造・販売

従業員数 754名(連結)

役員 (2018年6月30日現在)

代表取締役社長	浅井 恵一*
取締役副社長	高橋 理夫*
常務取締役	松岡 俊博*
常務取締役	平井 謙一*
取締役	新谷 竜郎*
取締役(社外)	原島 克
取締役(社外)	藤瀬 學
取締役(社外)	永田 光博
常勤監査役	大戸 徳男
監査役(社外)	稲垣 敦夫
監査役(社外)	伊藤 健二
執行役員	斎藤 誠司
執行役員	緒方 利明
執行役員	角田 知紀
執行役員	松田 恒次
執行役員	磯貝 幸宏
執行役員	中橋 彰夫

*印の付いた取締役は執行役員を兼務しております。

国内・海外拠点 (2018年6月30日現在)

